

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
3	国語	論理国語	2	特進理系国公立型
教科書・副教材		マーク試験のための基本練習 現代文 10(尚文出版)/ 徹底演習 新しい共通テスト 国語対策問題集 [現代文+古典] 35 (桐原書店)/共通テスト対策 新しい第3の現代文 集中完答 11 (尚文出版)/ 新版完全征服 入試漢字コア 2800 改訂版 (桐原書店)		

科目の目標			
「論理国語」の授業では、大学入試を見据えた得点力を身につけることのできる授業を目指します。そのためには、時間内にしっかりと文章を読み込み、設問の意図をつかんで解答することが大切です。得点力を上げるのに、近道はありません。一つ一つの文章の理解につとめ、根拠を探し解答を導くという過程を積み上げていきましょう。・文章読解のためには、語彙力を付けることが必要です。言葉の意味を知らずに、文章を理解することはできません。語彙力を養う取り組みは行っていますが、普段から言葉の意味を調べるなどの習慣も大切です。毎日の積み重ねを大切にしましょう。・テキストとともに大学入試問題も教材として扱いますが、ねらいとしては「共通テスト」での得点力をつけることです。従って、私大対策ではなく共通テスト対策として文学的文章も扱っていきます。・成果物の評価としては、提出物などが中心となります。普段の授業で使用したものを提出することになります。日々の学習にしっかりと取り組みましょう。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	文章の形態や文体、語句、論理構成など、論理的な読解をするために必要な知識をもっている。また、それらの知識を複合的に用いながら、文章を読解する技能を身につけている。	話題について多面的に検討して自分の考えをもち、論理の構成や展開を明確にして意見を述べる力を身につけている。話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方についての的確に自己評価や相互評価を行うことができる。	文章を読み取って自分の考えを深め、相手や場に応じて表現することに意欲をもつ。言葉の働きに関心をもち、ものの見方や感じ方、考え方を豊かにしようとしている。
評価の方法	学習の成果物【成】・リフレクション【リ】・定期考査【考】・小テスト【小】	【成】【リ】【考】【小】	【成】【リ】

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	基本演習 評論 第1回～第5回 問題演習	27	【成】 【リ】 【予】 【考】
	新しい第3の現代文 第1回～第5回 問題演習		
2 学 期	新しい共通テスト国語対策問題集 35 評論的文章 第1回～第7回 問題演習	33	【成】 【リ】 【予】 【考】
	入試問題演習 (公募・一般)		
3 学 期	大学受験		